広島市住民主体型
生活支援訪問サービス

令和５年度
新規実施団体紹介

～ 住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりに向けて ～

～はじめに～

広島市域では、現在４１団体が「広島市住民主体型生活支援訪問サービス」に取組み、地域に暮らす高齢者の「ちょっとした困りごと」の支援をしています。

令和５年度は、新たに５団体が実施団体に加わりましたので、立ち上げの経緯や取組内容、助け合い活動への「想い」を掲載した団体紹介冊子を作成しました。

本冊子が地域の助け合い活動の推進やサービスへ参画する参考になりましたら幸いです。

以前から活動している３６団体を紹介した、
令和４年度版　実施団体紹介冊子も作成しておりますので、
こちらもぜひご覧ください。

令和５(２０２３)年１２月

社会福祉法人広島市社会福祉協議会

～目次～

住民主体型生活支援訪問サービスとは　・・・P.1

令和５年度実施団体一覧　・・・P.2

令和５年度新規実施団体紹介

（１）青崎地区社会福祉協議会　・・・P.3

（２）井口ゆうあいネットサポート隊　・・・P.4

（３）狩留家地区社会福祉協議会　・・・P.5

（４）楽々園学区社会福祉協議会　・・・P.6

（５）古市学区社会福祉協議会　・・・P.7

住民主体型生活支援訪問サービスとは

事業の概要

住民主体型生活支援訪問サービスとは、「介護予防・日常生活支援総合事業」（介護保険事業）で実施する訪問型サービスの１つです。地域団体等が「ちょっとした困りごと」支援が必要な高齢者等の居宅を訪問し、生活の支援を行うサービスです。広島市では、本サービスを実施する団体に、運営費などの費用の一部を補助しています。

サービスの内容は、家の中の掃除やゴミ出し等の生活支援（第１号サービス）と、これまでの介護保険のサービスでは提供することができなかった庭の草取りや電球交換等（第２号サービス）があり、各団体が実施可能なサービスを選び、実施しています。

サービスの利用料も有償ボランティアにふさわしい範囲内で、各団体が設定することができるため、無償の団体もあれば、１時間単位で利用料をいただいている団体もあります。

サービスの実施にあたっては、地域包括支援センターと連携を図りながら、地域に住む高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、支援をしています。

運営費の補助

	住民主体型サービスの提供に必要な運営費	ボランティアコーディネーターへの謝礼金（1日当たり）
金額	10万円　※初年度のみ20万円	1,000円

サービスの種類

<第1号サービス>

ア　掃除（居室内やトイレ・卓上等の清掃、ゴミ出し）
イ　洗濯（洗濯機又は手洗いによる洗濯、洗濯物の乾燥・取り入れ・収納、アイロンがけ）
ウ　ベッドメイク（利用者不在のベッドでのシーツ交換、布団カバーの交換等）
エ　衣類の整理・被服の補修（夏・冬物等の入れ替え等、ボタン付け、破れの補修等）
オ　一般的な調理、配下膳（配膳、後片付けのみ、一般的な調理）
カ　買い物・薬の受け取り（日常品等の買い物（内容の確認、品物・釣り銭の確認を含む）、薬の受け取り）

<第2号サービス>

ア　草むしり、花木の水やり、植木の剪定等の園芸
イ　犬の散歩等ペットの世話
ウ　家具・電気器具等の組み立て・移動・修繕・模様替え
エ　大掃除、窓のガラス磨き、床のワックスがけ
オ　室内外家屋の修理、ペンキ塗り
カ　正月、節句等のために特別な手間をかけて行う調理
キ　書類・郵便物等の確認、手続きの助言
ク　新聞、書類等の代読、パソコン操作
ケ　散歩・買い物等外出時の付き添い
コ　無償により自家用車を使用して行う送迎

<第3号サービス>

第1号及び第2号サービスに含まれないサービス

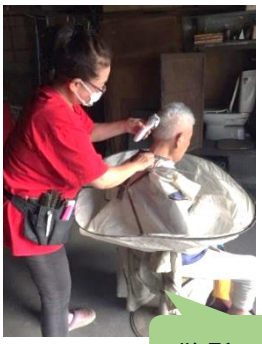
令和5年度　実施団体一覧

★令和５年度新規団体

区	団体名		
中区	白島地区老人クラブ連合会	安佐北区	志屋地区社会福祉協議会
	ボランティアグループ　フレンズ（基町）		三田よろずやワーク
	プロジェクトＣ(ほかほか)		タンポポのわたげ
	神崎学区社会福祉協議会		可部地区社会福祉協議会
	ボランティアグループ　フレンズ（江波）		可部南地区社会福祉協議会
東区	福田観音原福寿会		亀山地区社会福祉協議会
	牛田サポートネットほおずき		森城ハウス・トライ
	矢賀学区社会福祉協議会		★狩留家地区社会福祉協議会
南区	広島らくえん会	安芸区	畑賀地区社会福祉協議会
	大河地区社会福祉協議会		阿戸地区社会福祉協議会
	黄金山地区社会福祉協議会		やのまち一寸太助共同体
	★青崎地区社会福祉協議会	佐伯区	五月が丘ほほえみ
西区	ふれあいサービスもちもちの木		藤の木学区社会福祉協議会
	井口台生活支援事業部		佐伯区観音社会福祉協議会
	★井口ゆうあいネットサポート隊		美鈴が丘レスキュー
安佐南区	協同労働　びしゃもん台絆くらぶ		和みの会
	安東学区社会福祉協議会		★楽々園学区社会福祉協議会
	安学区社会福祉協議会		
	ボランティアバンク「はらみなみ」		
	ボランティア部会ながつか		
	戸山学区社会福祉協議会		
	ボランティアバンク「とも」		
	特定非営利活動法人さわやかけあ広島		
	★古市学区社会福祉協議会		

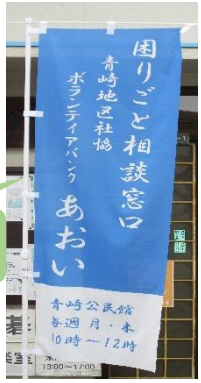
青崎地区社会福祉協議会

活動団体の通称	青崎地区社協福祉協議会 ボランティアバンクあおい	団体立上げ時期	平成１５年３月	
相談窓口所在地	〒734-0053 南区青崎 1-12-7 青崎公民館	事業開始時期	令和４年７月	
相談窓口開設時間	月曜日・木曜日 １０時～１２時	従事者数（担い手）	１８人	内ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ １８人 内ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ １８人
対象地域	青崎小学校区	依頼が多い支援内容	草刈り・散髪	
助け合い活動を始めたきっかけ	支え合いのまちづくりの１つのツールとして、日常の困りごとを気軽に相談してもらいたい。住民のよりどころとしたい。			
事業に参画したきっかけ	以前は、町内会ごとに困りごとの支援を無償で行っていたが、窓口を地区社協に一本化し、有償とすることで、より支援の輪が広がると考えたため。			
事業に参画してよかったこと	この取り組みを多くの住民に知ってもらえた。有償としたことで、依頼者も支援者もお互いに気兼ねがなくなり、依頼が増えた。			
活動するうえで大切にしていること（工夫など）	・ただ便利なボランティアとして扱われないよう、また、介護度や、世帯人数等のみで判断しないよう、まずは相談者の話をしっかり聞くこと。 ・対応したケース全てを検証し、団体オリジナルの「生活支援Ｑ&Ａ」を作成した。これによって支援の範囲や基準がより明確になり、共通認識が持てた。			
わがココ自慢!!（団体の自慢）	・枝木の剪定のプロや腕のよい美容師など人材の宝庫。 ・定期的に講習会を開き、福祉活動の知識や関心を高め合っている。 ・全町内にのぼり旗を立て、広報に力を入れている。			
今後（も）、力を入れて取組みたいこと	ボランティア活動の理解を深め、参画者を増やし、本当に必要な方に支援が届くよう、がんばってまいります。			



散髪の様子

安全講習の様子



宣伝用のぼり

ゆうあいネットサポート隊

活動団体の通称	ゆうあいネットサポート隊	団体立上げ時期	令和４年１月	
相談窓口所在地	〒733-0842 西区井口二丁目 1-3 井口集会所	事業開始時期	令和５年４月	
相談窓口開設時間	月曜日・水曜日 13 時～14 時 火曜日・木曜日 13 時～16 時 土曜日 10 時～12 時	従事者数（担い手）	２１人	内ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ ５人 内ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ １９人
対象地域	井口小学校区域	依頼が多い支援内容	庭の草取り、家具等の移動	
助け合い活動を始めたきっかけ	地域住民の高齢化が進む中「ちょっとした困りごと」を解決してあげたいとの思いから、地区社協、町内会の有志を中心に立ち上げました。			
事業に参画したきっかけ	生活支援コーディネーターさんの勧めもあり、これまでの支援活動をより充実したものに進化させたいとの思いで参画しました。			
事業に参画してよかったこと	地域包括支援センターとの連携により、要支援者の方への支援を行う上で、依頼者の方の理解を深めることができました。 依頼者の方の感謝の言葉に癒されています。			
活動するうえで大切にしていること（工夫など）	有償ボランティアにすることで、依頼者の心の負担が軽くなること、ボランティア間でグループ LINE をつくり、迅速に対応している。 依頼内容が草取りが多いため、ボランティアの安全を考えて８月はお休みにしていること。			
わがココ自慢!!（団体の自慢）	依頼者リピーターが多く、自然発生的にボランティアによる見守り要素が構築されていること。			
今後（も）、力を入れて取組みたいこと	広報紙やチラシを各戸配布し、サポート隊の認知度を高めていきたいと思い、ボランティア同士の交流を図り、信頼関係を深めていくことで、より円滑な団体として成長していけるように取り組みたいと思います。			

作業を終えてパチリ♪

運営についての話し合い

チラシも刷新しました♪

狩留家地区社会福祉協議会

活動団体の通称	狩留家地区社会福祉協議会	**団体立上げ時期**	昭和 49 年８月	
相談窓口所在地	〒739-1753 安佐北区狩留家町 3144-4 狩留家集会所内	**事業開始時期**	令和５年７月	
相談窓口開設時間	月曜日・木曜日 ９時～11 時	**従事者数（担い手）**	52 人	内ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ 4 人 内ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ 48 人
対象地域	狩留家町内	**依頼が多い支援内容**	草取り、草刈り、送迎	
助け合い活動を始めたきっかけ	・狩留家町内において一人暮らしの高齢者が増加しており、身近な困りごとに各地区で連携して対応するため令和 4 年度より「地区社協活動拠点活性化事業」を実施するに至った。			
事業に参画したきっかけ	・上記取り組みを始めて 1 年間で 168 件もの受付があり活動継続の必要性を強く感じた。より効果的に情報を共有し且つ速やかに問題を関係機関につなぐべく事業に参画した。			
事業に参画してよかったこと	・町内にはスーパーもなく運転できない高齢者は不便であったが、買い物や通院の足となり喜ばれた。 ・休耕田や荒れた畑も多くあり長く放置された土地の草刈りができて大変感謝された。			
活動するうえで大切にしていること（工夫など）	・草取り、草刈作業は必ず複数人で取り組む。 ・定期的に話し合いの場を設けて問題点があれば改善し、依頼者と担い手の双方が続けやすい環境づくりに努めている。			
わがココ自慢!!（団体の自慢）	・リピーター率が高い。一度依頼されると継続して依頼する方が多い。			
今後（も）、力を入れて取組みたいこと	・町内の皆さんに認知され利用も順調に増えているので今後も引き続きサービスを提供し続けたい。 ・担い手も高齢化しつつあるので 50～60 才代世代にうまく継承していきたい。			

送迎時の様子

草取り・草刈り

楽々園学区社会福祉協議会

活動団体の通称	楽々園学区ぼちぼち応援隊	**団体立上げ時期**	令和元年５月	
相談窓口所在地	〒731-5137 佐伯区美の里（個人宅）	**事業開始時期**	令和５年７月	
相談窓口開設時間	月曜日～日曜日 １０時～１２時 ※毎月第１金曜日 １３時～１５時 美隅公民館	**従事者数（担い手）**	18 人	内ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ ４人 内ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ 17 人
対象地域	楽々園学区	**依頼が多い支援内容**	草むしり・剪定・修理	
助け合い活動を始めたきっかけ	高齢化と共に地域の高齢者の方々が日常のちょっとした生活の不便さ訴えられることが多くなっていたため。			
事業に参画したきっかけ	困っている方々の助けが出来ればと考え、楽々園学区社会福祉協議会を母体にシニアクラブ・防犯・連合町内会の役員で話し合い、立ち上げました。			
事業に参画してよかったこと	依頼された方からはもちろんの事、地域団体からも、素晴らしい取り組みをしてもらっていると、感謝の言葉を頂いています。依頼内容によっては難しい作業もあり、出来上がったときの喜びはひとしおです。			
活動するうえで大切にしていること（工夫など）	・取組開始するにあたり、ボランティア講座を開催。 ・個人宅に入るので、信頼の厚いシニアクラブの会長を隊長としています。 ・ボランティア募集申込書には特技を書いてもらい作業分担の参考にしています。			
わがココ自慢!!（団体の自慢）	楽々園学区ぼちぼち応援隊は高齢者の支援は自分達の手でやろうと決め、ボランティアメンバーは主にシニアクラブ・明星会のメンバーで構成しています。 今後は青少年育成の OB とも協働しながら、地域を挙げての取り組みをして行きたいと考えています。			
今後（も）、力を入れて取組みたいこと	楽々園学区社協は、「住んで安心　笑顔でくらそう」をモットーに住み続けられるまちづくりを掲げており、今後、生活支援と併せて高齢者の見守り、小さな困りごとの相談をしっかりやってゆこうと考えています。			

簡単な修理

植木剪定

古市学区社会福祉協議会

活動団体の通称	古市学区社会福祉協議会	団体立上げ時期	昭和４８年４月	
相談窓口所在地	〒731-0123 安佐南区古市二丁目 28-28 古市集会所内	事業開始時期	令和５年１０月	
相談窓口開設時間	月曜日・水曜日 １３時～１６時	従事者数（担い手）	１４人	内ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ ９人 内ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ １４人
対象地域	古市小学校区	依頼が多い支援内容	草取り、植木の剪定	
助け合い活動を始めたきっかけ	ひとり暮らし高齢者や病弱な方の世帯について、生活上の困りごとを手助けしたいという思いから立ち上げた。			
事業に参画したきっかけ	・お困りの方を包括とより連携して支えることができるため。 ・参画以前は各自自前の道具を使っていたが管理が大変だった。本事業では初年度は２０万円、翌年度からも１０万円が運営費として出るため、それを活用し草取り等活動のための機械を購入したい。			
事業に参画してよかったこと	運営費により、団体のものとして手入れのしやすい機械を購入することができる。また、その使い道をみんなで協議することができた。			
活動するうえで大切にしていること（工夫など）	・個人情報を適正に管理すること。 ・長時間の活動防止すること、また、機械を扱う際に危険がないように、複数人で作業をするようにする。			
わがココ自慢!!（団体の自慢）	・各種地域団体と行っている「まちづくり委員会」を通じて、若い世代の方々と地域を活性化するイベントを企画、実行している。 ・地元企業と連携し、清掃活動や地域行事を行うなどつながりの輪を広げている。			
今後（も）、力を入れて取組みたいこと	・若い世代や定年後の方に得意なことを活かして活躍してもらえるようなきっかけを考えたい。 ・現在は無償で活動をしているが、有償化の必要性についても検討したい。また、活動内容の充実も検討したい。			

窓口での相談受付

剪定作業の様子

広島市住民主体型生活支援訪問サービス
令和５年度新規実施団体紹介

発 行 者　　社会福祉法人広島市社会福祉協議会
〒732-0822 広島市南区松原町５番１号
広島市総合福祉センター（BIGFRONT ひろしま）
TEL 082-236-6172　FAX 082-264-6413
発 行 月　　令和５年１１月
発行部数　　１，０００部